

「認知症の方にもやさしいお店・事業所」 登録事業を開始します！



小樽公式LINE案内人
レッタくん



小樽市認知症啓発キャラクター
ラミナちゃん

◆ 事業開始の趣旨

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができる地域づくりの一環として、認知症の方や家族を温かく見守ってくださる市内の店舗や事業所を小樽市「認知症の方にもやさしいお店・事業所」として登録する事業を開始します。

◆ 「認知症の方にもやさしいお店・事業所」とは？

下記の「認知症の方にもやさしいまちづくり協力項目」に賛同する事業所等のことです。

認知症の方にもやさしいまちづくり協力項目

- ✿ 認知症サポーター養成講座の受講等、認知症について理解を深めるよう努めます。
- ✿ 「認知症の方への対応の心得」※を意識して、やさしく、ゆっくり、丁寧に対応します。
- ✿ 認知症の方が安心して暮らすことができる地域づくりのための取組を可能な限り推進します。

※「認知症の方への対応の心得」の詳細はチラシ裏面参照

◆ 登録基準

- ✓ 「認知症の方にもやさしいまちづくり協力項目」に賛同すること。
- ✓ 認知症の人にもやさしいお店・事業所ステッカー（右記）を店舗等の目立つ位置に掲示すること。
- ✓ 小樽市が実施するアンケート等に協力すること。



◆ 登録までの流れ

- 1 申請フォーム（右記QRコード）から申込、または申請書をメール・郵送で提出

<https://logoform.jp/form/fqKj/1460415>
- 2 小樽市からステッカーを郵送
- 3 市ホームページで店舗・事業所等の情報を掲載

はじめまして！小樽市認知症啓発キャラクター 「ラミナ」だよ



アイヌ語で“穏やか”を意味するラッチと、“微笑む”のミナから生まれた名前だよ。認知症の方や御家族と接するときは、穏やかに笑顔で寄り添いたいですね。小樽市公式LINE案内人レッタくんと認知症に関する情報を発信していくよ！

詳しくは市ホームページや広報、SNSを見てね！

問合せ先

小樽市福祉保険部福祉総合相談室
地域包括ケアグループ
電話 0134-32-4111（内線467）
FAX 0134-33-1128
メール
tiikihokatucaire@city.otaru.lg.jp



認知症の方への対応の心得



認知症の方も一般の人とのつきあいと、基本的には変わりませんが、認知症の方と接するときには、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切です。

認知症の方への対応の心得は、認知症の方の他、高齢の方や障がいをお持ちの方を含むすべての方へのやさしい対応につながります。

● 基本姿勢 ●

認知症の人への対応の心得3つの「ない」

1 驚かせない 2 急がせない 3 自尊心を傷つけない

具体的な対応の6つのポイント

1 まずは見守る

認知症が心配される方に出会った時は、急に近づくのではなく、さりげなく様子を見守り、必要に応じて声をかけます。

2 余裕をもって対応する

こちらが急ぐと、焦りや動揺が相手に伝わってしまいます。落ち着いて自然な笑顔で接します。

3 相手の目を見て声をかける

ゆっくり近づき、相手の視野に入ったところで目線を合わせて声をかけます。唐突な声かけ、特に後ろからの声かけは相手を驚かせます。

4 笑顔とやさしい口調で

目線を同じ高さに合わせ、笑顔でやさしい口調を心がけます。

5 おだやかにはっきりとした口調で

耳が聞こえにくい人もいるので、ゆっくり、はっきりと話すよう心がけます。早口や大声、甲高い声は避けましょう。

6 会話は本人のペースに合わせて

一度に複数の質問をしないように気をつけます。短く簡潔に伝え、答えを待ってから次の言葉を発しましょう。結論を急がずゆっくり聞き、相手の言葉を使って確認するようにします。

心配なことがある場合は相談を

認知症のことで御相談がある場合は、お近くの地域包括支援センターに御相談ください。

各住所地を担当する小樽市地域包括支援センターを検索



「認知症の方への対応の心得」は、全国キャラバン・メイト連絡協議会発行「認知症サポーターキャラバンメイト養成テキスト、認知症サポーター養成講座教材「認知症を学びみんなで考える」を基に作成しました。さらに、小樽市認知症初期集中支援チーム検討委員会で内容を検討し、小樽市内の認知症当事者・家族の方から寄せられた御意見も踏まえて取りまとめたものです。